高松市立大野小学校　体力向上プラン

【学校教育目標】
自立と共生の心をもって行動する大野の子どもを育てる

【本校の現状と課題】

①　「新体力テストの数値分析の結果」より

○R5 年度に比べ握力は改善されたが、男女ともに多くの学年で長座体前屈、50m 走の記録が低く、県平均を下回っている。

○４年男子、２年の総合評価（（A＋B）－（D＋E））の数値がマイナス値である。

②　児童の実態より

○朝の始業前や業間、昼休み等で、元気よく運動場で遊ぶ姿が見られる。一方高学年になってくると外遊びに行かない児童の割合が増え、二極化している

○体育の学習が好きな児童が多い反面、苦手や恐怖心によって体育の学習が苦手な児童が一定数いる。

○教職員の働き方改革を考慮しながら、新時代の体力づくりを計画していく。

【取組み】

委員会活動で外遊びを

スポーツ委員会が中心となって、運動習慣がつくよう、あそびんピックと関連付けて、外遊びの呼びかけを行う。全校生が運動を楽しめるようなイベントを企画し実践する。

各種トレーニングを放課後指導で

毎週火・金の放課後指導で 6～7月に水泳（3～6年）、9～10月に陸上（5・6年生）、休み時間に11～12月は持久走（全学年）の練習を行い、体力向上と自己の記録更新を目指す。

体育の授業を通して

各学年に応じた運動種目の学習カードを用いて、基礎体力の向上や運動技能の強化を図る。教材や教具を工夫し、児童の恐怖心を取り除き意欲的に学習に参加できるようにする。

環境を整える

竹馬、一輪車、ジャンピングボード等、休み時間を利用して進んで運動ができる環境を整備する。また、「運動場の使い方」のルールを守ることで、安全に使用できるようにする。

【目標】

①　新体力テストの数値における目標

・令和８年度体力テストに向けて、昨年度大きく下回っている種目の値を県平均に近づける、またはそれより上回ることができるようにする。

②　体育学習や外遊びにおける目標

・「体育が好き」と答える児童の割合を増加させる。

・長い休み時間や「あそびンピックの日」に運動遊び等を実施する児童の割合を増加させる。